



そらんぼ 四日市へ
行こう! 第30回

～中秋の名月を眺めよう～

今年の夏は猛暑でした。まだまだ残暑の厳しい時期ですが、9月に入り、夜にはようやく秋風も感じられるようになってきました。

秋の代表的な風物詩といえば、お月見です。秋の月は、高すぎず低すぎず、見上げるのにちょうど良い高さに昇ります。また、秋は空気が乾燥しているため空が澄み渡り、月の輝きも一段と美しく見られます。日本では、古くから月を愛でる習慣が

「博物館」「プラネタリウム」「四日市公害と環境未来館」の見どころなどを紹介します。

開館時間 9:30～17:00(観覧会への入場は16:30まで)

9月の休館日 3日(月)～10日(月)・18日(火)・25日(火)

10月の休館日 1日(月)・9日(火)・15日(月)・22日(月)・29日(月)



あり、特に、旧暦の8月15日の月を鑑賞するお月見の行事は「中秋の名月」として親しまれています。お月見の日には、団子やススキ、収穫物の里芋などを供えて月を眺めるほか、全国的に、他の家に供えられている団子を子どもが盗むことを許される「お月見どろぼう」という行事もみられます。四日市でも「お月見どろぼう」が行われる地域がありますね。

さて、今年の「中秋の名月」は9月24日です。お月見というと満月の印象が強いかもしれませんが、旧

暦の8月15日の月が現在の暦で満月になるとは限りません。今年は満月の一日前に当たります。博物館では当日の18時30分から博物館前の市民公園で、移動天文車きらら号による観望会を行います。きらら号の大きな望遠鏡で、美しい「中秋の名月」をじっくりと眺めてみませんか。



問い合わせ先

博物館

(☎355-2700 FAX355-2704)



こにゅうどうくんのお部屋

第33回



記念誌が完成

「ここはばんこ焼のまち！」

四日市の地場産業「萬古焼」を再発見できる、すてきな記念誌が発行されたよ。表紙の写真は明治時代の作品で、猫が鯛をのぞいているデザイン。魅力的な萬古焼の写真がいっぱい載っているよん。



市のマスコットキャラクター「こにゅうどうくん」のコーナーだよ。萬古焼の創始者 沼波弄山(ぬなみろうざん)翁生誕300年を迎え、盛り上がる業界をレポートするよ。

工房や問屋を見学・体験
「HELLO FACTORY！」

10月12日(金)～14日(日)の間、市内17社でプチツアーが開催されるよん。

普段見ることができないものづくり現場や、商社のバックヤードを見学・体験できるよ。各社の企画した楽しい体験メニューについて、詳しくは、ばんこの里会館ホームページ (http://www.bankonosato.jp) を見てね！

古萬古から現在までの
魅力を展示「萬古焼の粋」

9月29日(土)～12月28日(金)の期間中は「ばんこの里会館」で萬古

焼の魅力展示事業が開催されるよん。過去から現在までの貴重な作品が一堂に会するから、みんなもぜひ見に来てね！



問い合わせ先

観光交流課

(☎354-8286 FAX354-8315)

有料広告掲載欄



株式会社 ふじや本店

光倫会館
☎0120-114248

■本社／四日市光倫会館

〒510-0836 四日市市松本町北大谷2015

【TEL】059-351-1151 【FAX】059-351-4224

■光倫会館 桜ホール

〒512-1211 四日市市桜町6613

【TEL】059-325-2482 【FAX】059-325-2483

■富田光倫会館

〒510-8014 四日市市富田2丁目3-7

【TEL】059-361-2481 【FAX】059-361-2482

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。